

三重県聴覚障害者支援センター
第三者評価委員会
評価報告書（平成24年度第4期）

平成25年4月

1. 会議等の名称 平成24年度第4回三重県聴覚障害者支援センター評価委員会
2. 開催日時 平成25年4月30日(火) 19:00~22:00
3. 開催場所 三重県聴覚障害者支援センター 研修室
4. 出席者

(1) 委員

佐藤 俊通(三重県聴覚障害者支援センター 委員長)
三浦 正敏(三重県聴覚障害者支援センター 副委員長)
山崎 靖子(委員)
横山 慶 (委員)
脇田 愉司(委員) ※欠席
西尾 恵子(委員)

(2) 三重県聴覚障害者支援センター

深川 誠子(センター指定管理者 三重県聴覚障害者協会 会長)
倉野 直紀(センター指定管理者 三重県聴覚障害者協会 常務理事) ※欠席
山本 喜秀(センター長兼務支援課・ライブラリー課責任者)
那須 万美子(センター派遣課 責任者)
加藤 恵美(センター養成課 責任者)
田代 慶臧(センター相談事業 担当者)
矢野 玲子(センター職員 記録者)

5. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 事前質問事項への回答及びそれに対する質疑
- (2) 第4期業務報告の検証

【審議の内容】

(1) 前回評価委員会で指摘された事項について改善報告

- 前回の評価委員会で指摘された事項の改善点について報告
- 事前質問事項への回答及びそれに対する質疑応答

1) 字幕ライブラリー制作・貸出事業

質疑：制作本数の目標数の設定は妥当か？無理のない設定数か？

応答：三重ナビチームの協力を得て進めている。

経験を積むことで、今後はスムーズに進められると思う。

質疑：教材ビデオの内容は？

応答：2期の評価委員会で、ループの使い方、難聴者用手話学習教材、要約筆記の依頼方法などの要望があったので検討していきたい。また、活動関係の制作を増やしたい。

意見：関連団体紹介ビデオ作成を検討してほしい。

応答：検討します。

2) 派遣啓発パンフレットについて

質疑：センターホームページでも見ることはできるか？

応答：完成したら、ホームページにも掲載します。

3) 派遣事業運営委員会の設置について

意見：「検証班」「研修班」など班名の表記が違い分りづらい。統一してほしい。

応答：表記を統一する方向で検討します。

4) 手話通訳者養成事業について

質疑：全国統一試験の合格者が少ない。対策は？

応答：強化学習会を見直す。ステップアップ講座の開催、養成講座修了生へのフォローなど、講師内で検討中。講座は通訳技術を学ぶ場であることを、面接時にきちんと説明する。

意見：試験の結果の伝え方や、講座修了後の技術の習得の場を考える必要があるのでは。

応答：試験結果の伝え方、研修についても、養成班で検討する。

5) 盲ろう通訳派遣支出について

質疑：赤字額が多いが、派遣依頼が目標よりも多かったためか。次年度の計画は？

応答：予算額はセンター側の目安。次年度は実績を元に予算を作り直す。次年度の報告時は、予算額を入れないほうがよいか。

意見：目安になるので入れてほしい。

6) 災害の取り組み

質疑：現在、災害サポーター登録者は5名となっているが、その内訳は？

応答：手話通訳者4名、ろう者1名。要約筆記関係者で防災に関する知識や資格を持つ人がいれば、紹介してほしい。

7) 印刷設備

意見：紙折り機など、使える設備についてホームページに掲載してほしい。

そうすれば、利用者も増えるのではないか。

8) 25年度の目標について

説明：すでに県へ提出している。目標数はどれも24年度よりもあげて設定している。後日、三聴障協経由で評価委員へ渡す。今年度赤字の事業は、前年度の実績を元に予算を組んだ。

(2) 第4期業務報告の検証

(説明)

①ライブラリー事業 作成：24本 貸出：400本超（目標達成）

②手話通訳者養成事業 講座開催

③要約筆記者養成事業 ワーキンググループ会議開催

④健康管理 検診受診者数を増やした

- ⑤派遣事業 手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助者の派遣目標数を超えた
- ⑥情報機器貸出 返却時の確認を徹底
- ⑦きこえの相談 毎週火・木に実施 地域相談会の実施（いなべ、亀山、尾鷲）
- ⑧センター便り 月1回発行
- ⑨防災協定 1ヶ所（伊勢市）
- ⑩利用登録者数 404人

1) 防災について

質疑：他の市町との協定の進捗状況は？

応答：3市と話し合いをし、2市とは継続中。今後10ヶ所ほどと締結したい。

2) サークル紹介

前回依頼した、要約筆記サークルのホームページ掲載が未実施だが、早急に乘せて欲しい。

応答：早急に載せます。

3) 報告書について

意見：見づらいので、工夫してほしい。（目次を付ける、数字の表記、書式など）

応答：県に出す書き方だとなってしまう。少しでも見やすいよう工夫を検討します。

以上

6. 配布資料

- 三重県聴覚障害者支援センター 2012年度第4期報告